

子どものための BOOK GUIDE
—13—



Handa's Surprise

著者：Eileen Browne
出版社：Mantra Lingua

英

語の絵本には英語+他言語というものがあります。いま手元にあるエリック・カールの『はらぺこあおむし』の英語版には、中国語(繁体字)が併記されています。タイトルも原題のThe Very Hungry Caterpillarに『非常飢餓的毛毛蟲』と添えています。

今回取り上げるのはEileen Browneの*Handa's Surprise*。作者はイギリス人ですが、この絵本の舞台はケニア。Handaという女の子が友だちに果物を持って行ってあげようと、7つのフルーツを盛ったかごを頭にのせて道を歩いていくのですが、途中で、サルが木の上からバナナをくすねて、ダチョウがグアバを失敬して、シマウマがオレンジをくわえて……いくうちに、かごは空っぽに。ところが木につながれていたヤギのおかげで、かごはふたたび、Handaの思ってもいなかった果物でいっぱいになって……という話。

単純な繰り返し楽しいし、カラフルな絵で描かれるケニアの草原や動物や虫や果物が素晴らしい！

じつは、いまぼくが手にしているのは英語の原文にスペイン語が併記されたもの。本文は、スペイン語が上に書いてあって、その下に少し小さいフォントで英語。こういうのをdual language editionといいます。調べてみたら、この絵本、この形式のものがアラビア語、ベンガル語、ベルシア語、ベトナム語、パンジャブ語、タミル語、トルコ語などのほか、トウィ語、グジャラート語、ヨルバ語(どこで話されているか知ってます?)などなど、ヨーロッパ言語も含めると、なんと17種類出版されているのです。

このうちの何冊かでもいいから(できれば17冊全部!)、図書室に並べてみてください。えーっ、こんな言葉があるんだ、こんな文字があるんだ! 世界、広いぜ! という子どもの声がきこえてきそうです。それに、英語って、こんなにたくさんの地域で必要とされているんだということも実感できると思います。

しかし、世界中がこんなに、英語英語英語になっていっていいんだろうかという問いかけも、忘れずにしてみてください。

金原瑞人
かねはら・みずひと

岡山県生まれ。翻訳家、法政大学社会学部教授。法政大学文学部英文学科卒業後、同大学院修了。訳書は児童書、一般書、ノンフィクションなど600点以上。日本にヤングアダルト(YA)というジャンルを紹介。中学校英語教科書『Here We Go!』(光村図書)の編集委員を務める。